

経営比較分析表（令和6年度決算）

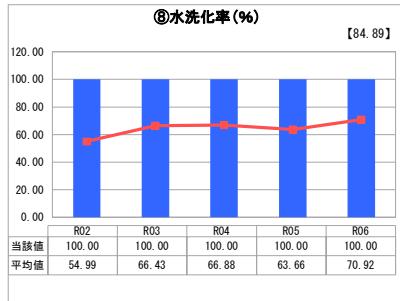
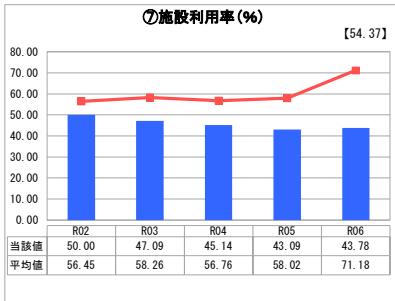
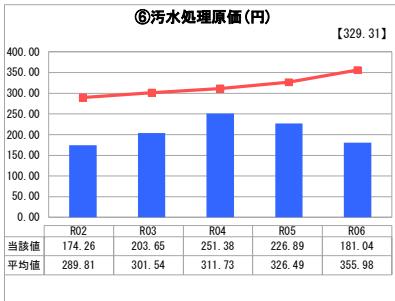
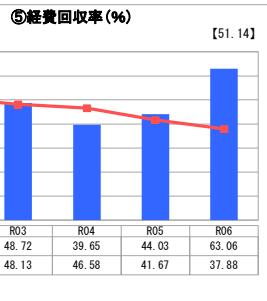
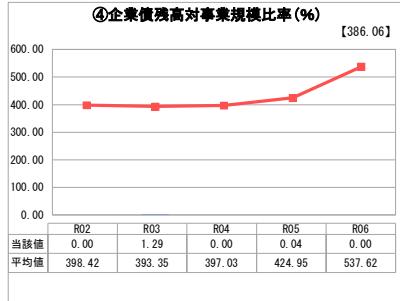
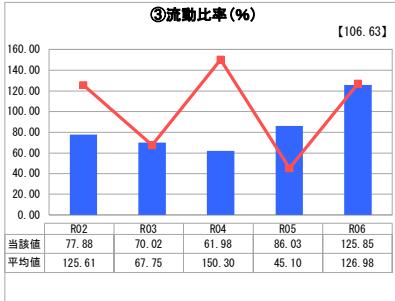
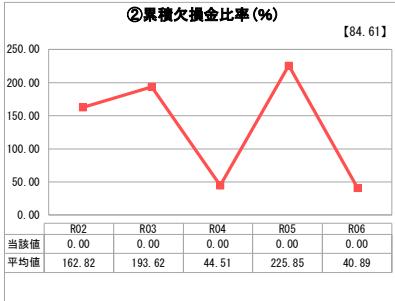
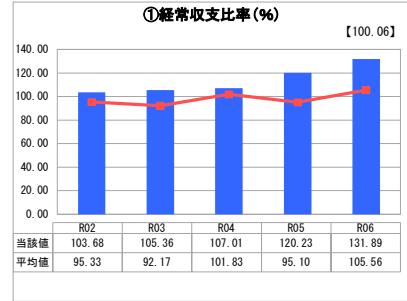
群馬県 伊勢崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.54	0.15	100.00	2,453

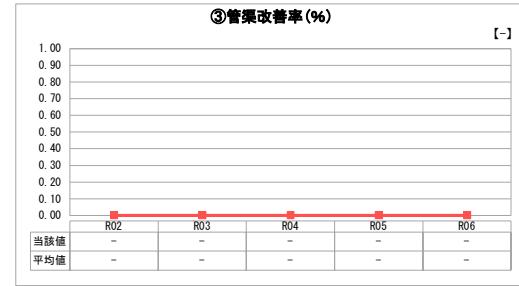
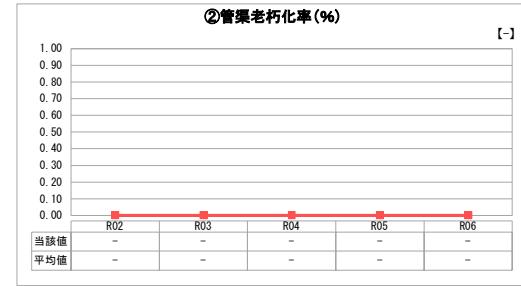
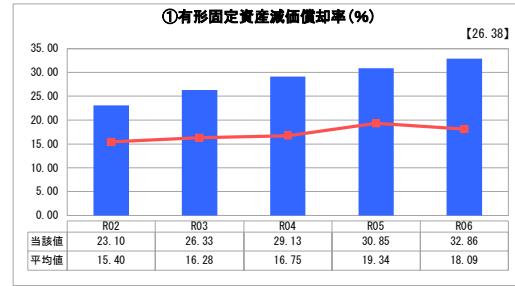
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
212,084	139.44	1,520.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
324	2.21	146.61

グラフ例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

(1) 各指標と現状の分析
令和2年度より地方公営企業法の適用を開始している。

①単年度の収支が黒字であることを示す100%を上回っている。
②累積欠損金が発生していないことを示す0%となっている。
③未払金の減少、建設改良費等の財源に充てられた企業債の減少により、100%を上回っている。
④平均値より低い状況であり、建設投資関連事業は小規模で推移している。

(5) 使用料改定により上昇したものの100%を下回る状況であり、使用料収入だけでは、汚水処理費を賄えていない。
⑥平均値より低い状況であり、効率的な汚水処理が行われている。

⑦利用者の高齢化や核家族の増加により世帯構成員が減少傾向にあり、排水量が少なく、平均値より低い状況となっている。
⑧市で希望者の各戸に浄化槽を設置する戸別処理となっているため、100%となっている。

(2) 課題に対する今後の取組等

類似団体と比較すると、汚水処理原価が低いことから効率的な汚水処理が行われている。その一方で、浄化槽設置基数が少なく、使用料改定を実施したものの使用料収入が十分に確保できていないため、経費回収率は低い。このため、今後も段階的な使用料の改定を進める。

2. 老朽化の状況について

(1) 各指標と現状の分析
①平均値より高い状況であり、各資産の老朽化状態を考慮し、浄化槽設置への投資を進めていく。

(2) 課題に対する今後の取組等
今後は、施設の修繕状況や資産台帳の活用等により、施設の更新について検討を予定している。

全体総括

(1) 各指標と現状の分析
経常収支比率は100%を超える状況であり、汚水処理原価の平均値との比較から効率的な汚水処理が行われているが、使用料改定を実施したことにより、経費回収率は向上したものの、未だ割合と、維持管理費を使用料で賄えていない。

(2) 課題に対する今後の取組等
本事業は、公共下水道事業等の集合処理と異なり、市で希望者の各戸に浄化槽を設置する戸別処理となっているため、令和6年度末で141基の市設置浄化槽への接続率は100%となっている。

経費回収率の向上のため、今後も段階的な使用料改定を進めることで、健全で持続可能な経営管理に努めていく。